

看護学専攻

人材養成および教育研究上の目的

看護学専攻において、修士論文コースでは、看護学領域の専門的な知識・技能を基盤として、看護実践力・看護管理能力・看護教育力・看護研究力を有し、実務家として看護の質向上に貢献できる看護専門職者を養成することを目的とする。高度実践看護師コースでは、高度な看護学の専門的な知識・技術を駆使して、保健・医療・福祉現場において、複雑な健康問題を有する患者に卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践の向上に貢献できる看護師を養成することを目的とする。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

ヒューマンケアリングの学問を専門とする看護職は、人間の尊厳を重視して人々の心身の健康問題に焦点を当て、科学に裏打ちされた考える知、感性の知を統合した能力を培っていく必要がある。本専攻（修士課程）においては、看護を創造的、開発的に探究し続けることによって看護の質の向上に貢献する高度な実務家を養成するという観点から、以下のような人材を受け入れる。

1. 看護学の高い専門知識・技能を学修する意欲と生命の尊厳や病む人の心を理解する深い感性を有し、看護の質の向上と変革へ寄与する意思を持つ人。
2. 看護事象に関して明確な問題意識や課題を持ち、学習成果をもって、人々の健康増進に貢献する意欲のある人。
3. 看護学を基盤とした実践的リーダー、看護管理者、又は臨床教育者を目指す人。
4. 高度実践看護師を目指す人。

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

高度な実務家としての素養は、実践的能力の向上の基盤である看護専門職として人間的に成熟し、看護における専門性の高い「実践力」「管理能力」「教育力」「研究力」を有することであり、これらの能力を有する実務家を養成することを目的として、以下の科目からなる課程により教育を行う。

1. 高度な専門性を有する看護の実践・管理・教育・研究のための基盤となる共通科目。
2. 各看護学領域において専門性の高い実践・管理・教育・研究を行なう能力を養成





するための専門科目。

3. 高度実践看護師に必要な的確な臨床判断と高度な技術を基盤とする実践能力を養成するための専門科目。

❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

カリキュラム・ポリシーに沿った教育を行い、以下の能力を有する者に学位を授与する。

1. 臨床実践の場における実践・管理・教育・研究のリーダーとして活躍できる能力。
2. 地域の看護専門職者と相互交流を図り、地域における生活支援及び健康・福祉行政の実践的リーダーとして活躍できる能力。
3. 実践的リーダーとして社会のニーズや変化に対応し、課題に対して科学的根拠に基づき探求できる能力。
4. 高度実践看護師の資格を取得できる能力。

